

チーム南九州

Kumamoto, Miyazaki & Kagoshima

第8師団は、いかなる事態にも対応できるように日頃から関係機関と密接に連携しています。

■ 陸・海・空自衛隊統合運用



■ 「4つの制帽」との共同

(警察・消防・海上保安庁及び自衛隊)



■ 地方自治体との連携



■ 地域住民との絆



所在駐(分)屯地・部隊

Location of Each Camp & Unit

北熊本駐屯地

第8師団司令部
第42即応機動連隊
第8後方支援連隊
第8高射特科大隊
第8通信大隊
第8師団司令部付隊
第8偵察隊
第8特殊武器防護隊
第8音楽隊
西部方面特科連隊

玖珠駐屯地

西部方面対舟艇対戦車隊

高遊原分屯地

第8飛行隊

えびの駐屯地

西部方面特科連隊第3大隊

都城駐屯地

第43普通科連隊

川内駐屯地

第8施設大隊

国分駐屯地

第12普通科連隊

各種行事

Various Events



創立記念行事



体験入隊



夏休みちびっこ大会



駐屯地夏祭り



航空機体験搭乗

陸上自衛隊 第8師団広報室

電話番号 096-343-3141 (内線 3443,3445,3447)

ホームページ <http://www.mod.go.jp/g sdf/wae/8d>



第8師団公式
ホームページ



第8師団公式
Face Book



鎮西機動師団

Rapid Deployment Division



第8師団の役割

Roles & Mission

島しょ防衛態勢 ～第一列島線の抑止・対処～

我が国を取り巻く安全保障環境は、様々な課題や不安定要因がより顕在化・先鋭化してきており、自衛隊創隊以来最も厳しいと言っても過言ではありません。特に、我が国の南西諸島の地政学的価値は著しく高まっており、島しょ防衛態勢を以下の3つを柱として強化しなければなりません。

- 1 平素からの部隊等配置による抑止態勢の確立
(南西地域に初動担任する部隊を新編)
- 2 実力部隊を緊急かつ急速に機動展開
(機動師・旅団への改編)
- 3 水陸両用部隊による奪回
(水陸機動団の新編)

第8師団の警備区域



我が国防衛の最前線である西部方面隊の中核を担う第8師団は、引き続き南九州3県（熊本、宮崎、鹿児島）の防衛警備、災害派遣の任務を遂行しつつ、事態が生じた場合、必要に応じ、警備区域を越えて緊急展開し、任務を完遂しうよう、全国に先駆けて機動師団となります。

第8師団の機動師団化改編

Rapid Deployment Division



第8師団は、第42普通科連隊を即応機動連隊に改編するとともに、重装備部隊である第8特科連隊及び第8戦車大隊を方面直轄に、又、即応予備自衛官を主体とする部隊である第24普通科連隊を方面混成団に移管し、更に即応性、機動性を高めた部隊となります。

即動・強靱

Readiness & Resilience

侵略の抑止・対処（島しょ部防衛等）

第4 2 即応機動連隊先遣隊による即応展開



UH-60 による誘導



CH-47 による人員の展開



CH-47 による車両の展開

第4 2 即応機動連隊主力による1次展開



偵察部隊による情報収集



新たに導入された16式機動戦闘車



新たに導入された中距離多目的誘導弾

第8師団主力による2次展開



司令部の指揮・幕僚活動



常続的な警戒・監視



指揮連絡を確保する通信構成



施設科部隊による陣地の強靱化



特殊武器防護隊による除染活動



後方支援部隊による兵站基盤の確立



砲迫火力による敵の制圧



対舟艇対戦車火力による敵の撃破



対空火力による敵航空機・ミサイルの撃破

災害派遣



熊本地震(平成28年4月)



東日本大震災(平成23年3月)



鳥インフルエンザ(平成28年12月)



九州北部豪雨(平成29年7月)

国際貢献



派遣海賊対処行動支援隊(平成29年2月～8月)